

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 25 年度

市町村名	富士見市			
提案事業名	地域ぐるみで防災力アップ事業			
事業期間	25 年度	～	25 年度	
事業の必要性、目的	<p>東日本大震災は、広域的な大規模災害における公的支援体制（公助）の脆弱さが露呈された反面、地域住民の協力による救助活動や避難所運営などが注目され、自助・共助の重要性が改めて認識されています。</p> <p>当市内の各地域で組織されている自主防災組織は、防災訓練等の活動を通して、災害発生時における地域防災や共助体制の要となることが期待されていることから、既存の組織の活動に対する支援や助成を継続することにより、地域における防災力の向上を目指します。</p> <p>また、併せて、新たな組織の結成に向けた支援や助成を行うことで、未結成地域における共助体制の構築を目指すとともに、自助・共助・公助の連携により、富士見市全体の防災力の向上を目指します。</p>			
成果指標	（成果を検証する指標） 自主防災組織の組織率（自主防災組織がカバーする地域の世帯数÷市内全世帯数）			
	（成果検証の具体的な方法） 各事業実施後における自主防災組織の組織率の推移を検証します。			
	（上記の指標を設定した理由） 地域における防災力の向上を目的として、自主防災組織の新規結成を促進する事業であるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 (25年4月現在)	58%	目標値 (26年4月時点)	65%
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ等にて公表し、自主防災組織の新規結成を促進します。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成25年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 思いやりと温もりある避難所備蓄品整備事業	<p>災害時の避難所として指定している小中学校には防災倉庫を設置し、各種資機材や非常用食糧等を備蓄しています。</p> <p>実際に避難所を開設した場合を想定した「避難所宿泊体験訓練」の実施等を通じて、災害時に支援を必要とする高齢者や乳幼児、女性等が避難生活を送る場合に必要物資等のほか、収容人数に見合った炊き出し機材の整備が課題として挙げられたことから、対応する備蓄品等を新たに整備することで、避難所機能を強化します。</p> <p>また、各小中学校にLPガス方式の冷暖房設備の整備を予定しており、燃料貯蔵用のガスバルクタンクを設置することから、LPガス燃料を活用できる炊き出し機材や発電機等を整備し、災害発生初期における停電時においても円滑な避難所運営に対応できる体制を構築するものです。</p>	11,854
② 地域密着型避難所宿泊体験訓練事業	<p>実践的な地域防災体制づくりのため、平成24年度から、避難所に指定されている小学校施設を利用し、学校区内の自主防災組織、地域住民、学校関係者や保護者などの連携により、避難所宿泊体験訓練を実施しています。</p> <p>今年度は、新たに各避難所に整備される炊き出し機材や備蓄品を実際に使用することで、より実践に即した訓練を実施します。</p>	75
③ 自主防災組織育成・支援事業	<p>大規模災害の発生時においては、消防・救急・行政といった公的な救助・支援体制が届くまでに長時間を要することが想定され、地域における初動体制の構築は最重要課題であることから、地域防災力の要としての活動が期待される自主防災組織に対する支援を継続するとともに、新規の組織設立に向けた支援を行い、組織率の向上を目指します。</p>	2,200
合計		14,129

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	自主防災組織の新規結成、活動に対しては財政的な助成だけでなく、組織の運営、備蓄物資の品目選定や防災訓練の実施方法など、地域ごとの特性や規模などに応じて多岐にわたる支援や助言等を行います。 実際の避難所運営を想定した訓練の実施等により、災害時に組織立って対応できる自主防災組織の重要性を認識してもらいます。
成果指標の達成見込み	新規に組織結成を目指している町会組織などに対して、既存組織の具体的な取組みを周知するとともに、財政面、運営面での支援体制があることを認識してもらうことで、目標値の達成は十分可能であると見込めます。